



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日
東

上場会社名 レック株式会社 上場取引所
コード番号 7874 URL <https://www.lecinc.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永守 貴樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 増田 英生 (TEL) 03(3527)2150
四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	23,330	15.2	2,253	18.4	2,375	27.1	1,588	34.9
2019年3月期第2四半期	20,243	6.3	1,903	△8.2	1,868	△10.2	1,177	12.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,291百万円 (10.9%) 2019年3月期第2四半期 1,163百万円 (△16.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	44.99	44.33
2019年3月期第2四半期	33.37	32.88

(注) 2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	55,419	30,371	53.2
2019年3月期	53,701	29,423	53.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 29,475百万円 2019年3月期 28,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	9.50	—
2020年3月期	—	8.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の第2四半期配当金については、当該株式分割前の実際の配当の額を記載しております。2019年3月期の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。また、2019年3月期の合計については単純合計ができないため表示しておりません。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	6.7	4,400	7.0	4,400	5.2	2,980	2.2	84.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	38,165,340株	2019年3月期	38,165,340株
2020年3月期2Q	2,862,270株	2019年3月期	2,866,070株
2020年3月期2Q	35,301,391株	2019年3月期2Q	35,276,975株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は株式給付信託を導入しており、株式給付信託が所有する当社株式については、自己株式に含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策等を背景に緩やかな回復基調で推移しておりますが、通商問題の動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱問題や中東情勢の緊迫化等、先行き不透明な状況が続いております。

当グループの属する日用品業界におきましては、雇用・所得環境は改善傾向にあるものの、社会保障等将来に対する不安感等から、消費者マインドは足踏み状況にあります。日用品等生活必需品に対する低価格・節約志向が継続する一方で、人手不足により人件費や物流費等の諸費用も上昇しており、経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当グループでは、キャラクター関連製品、コスメ関連製品及び洗剤等の消耗製品等の開発に注力し、積極的に新製品を発売してまいりました。また、新製品発表会の開催等の販売促進策を展開することにより、シェアの拡大及び新規顧客の獲得等に努めるとともに、物流面における顧客対応力の強化や効率化、生産性の向上及び徹底的なコスト削減を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2018年12月に譲受けた「バルサン」ブランドの殺虫剤事業に係る売上高が新たに加わったことや消費税増税前の駆け込み需要と思われる売上高の増加等から233億30百万円(前年同期比15.2%増)となりました。利益につきましては、当該事業譲受に際して生じた店頭在庫の引取費用及び人件費の増加等があったものの売上高が伸張したことから営業利益は22億53百万円(前年同期比18.4%増)、経常利益は23億75百万円(前年同期比27.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億88百万円(前年同期比34.9%増)となりました。

なお、事業の品目別の売上高の状況は、次のとおりであります。

品目の名称	前第2四半期連結累計期間 (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期比(%)
収納・インテリア用品	1,818	1,709	△6.0
サニタリー用品	3,073	3,070	△0.1
洗濯用品	1,374	1,491	+8.5
清掃用品	3,880	4,083	+5.2
キッチン用品	2,591	2,773	+7.0
ベビー・キッズ用品	2,954	3,282	+11.1
その他	4,551	6,918	+52.0
合計	20,243	23,330	+15.2

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ17億17百万円増加し、554億19百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億11百万円増加し、352億8百万円となりました。主な増加は、商品及び製品の増加9億75百万円及び受取手形及び売掛金の増加4億63百万円であり、主な減少は、現金及び預金の減少7億54百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ13億6百万円増加し、202億10百万円となりました。主な増加は、有形固定資産の増加17億30百万円であり、主な減少は、投資有価証券の減少等による投資その他の資産の減少3億39百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億70百万円増加し、250億47百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ23億5百万円増加し、114億46百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加10億81百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加8億50百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ15億35百万円減少し、136億1百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少15億円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億47百万円増加し、303億71百万円となりました。主な増加は、利益剰余金の増加12億43百万円であり、主な減少は、その他有価証券評価差額金の減少3億57百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ7億54百万円減少し、89億81百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は19億4百万円(前年同期は20億38百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益23億70百万円及び減価償却費10億79百万円による増加と、たな卸資産の増加額9億73百万円、売上債権の増加額4億76百万円及び法人税等の支払額3億52百万円による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は26億61百万円(前年同期は19億14百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出27億10百万円による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は58百万円(前年同期は3億5百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額10億83百万円による増加と、長期借入金の純減少額6億50百万円及び配当金の支払額3億43百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,464	17,709
受取手形及び売掛金	7,044	7,508
商品及び製品	6,102	7,077
仕掛品	470	441
原材料及び貯蔵品	1,618	1,621
その他	1,136	920
貸倒引当金	△41	△70
流動資産合計	34,797	35,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,841	4,198
その他（純額）	9,367	10,741
有形固定資産合計	13,208	14,939
無形固定資産		
のれん	753	657
その他	223	234
無形固定資産合計	976	891
投資その他の資産		
投資有価証券	3,675	3,177
その他	1,043	1,202
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,719	4,379
固定資産合計	18,904	20,210
資産合計	53,701	55,419

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,923	1,842
短期借入金	109	1,190
1年内返済予定の長期借入金	4,450	5,300
未払法人税等	424	850
賞与引当金	303	335
その他	1,929	1,927
流動負債合計	9,140	11,446
固定負債		
長期借入金	13,500	12,000
株式給付引当金	141	172
退職給付に係る負債	399	391
資産除去債務	36	36
その他	1,059	1,000
固定負債合計	15,136	13,601
負債合計	24,277	25,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,491	5,491
資本剰余金	7,043	7,043
利益剰余金	15,241	16,484
自己株式	△1,008	△1,007
株主資本合計	26,767	28,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,284	927
繰延ヘッジ損益	—	44
為替換算調整勘定	584	503
退職給付に係る調整累計額	△8	△12
その他の包括利益累計額合計	1,860	1,463
新株予約権	319	319
非支配株主持分	477	576
純資産合計	29,423	30,371
負債純資産合計	53,701	55,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	20,243	23,330
売上原価	13,214	15,284
売上総利益	7,029	8,045
販売費及び一般管理費	5,125	5,791
営業利益	1,903	2,253
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	27	30
為替差益	—	12
業務受託料	21	56
その他	65	54
営業外収益合計	123	164
営業外費用		
支払利息	39	40
デリバティブ評価損	3	—
為替差損	107	—
その他	7	2
営業外費用合計	158	43
経常利益	1,868	2,375
特別損失		
固定資産除却損	2	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	1,865	2,370
法人税、住民税及び事業税	425	766
法人税等調整額	159	△83
法人税等合計	584	683
四半期純利益	1,280	1,687
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,177	1,588

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,280	1,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109	△357
繰延ヘッジ損益	81	45
為替換算調整勘定	△90	△80
退職給付に係る調整額	1	△3
その他の包括利益合計	△116	△396
四半期包括利益	1,163	1,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,060	1,191
非支配株主に係る四半期包括利益	103	99

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,865	2,370
減価償却費	789	1,079
のれん償却額	25	95
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	29
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△117	32
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7	△7
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	25	30
受取利息及び受取配当金	△35	△41
支払利息	39	40
為替差損益 (△は益)	46	8
デリバティブ評価損益 (△は益)	3	—
売上債権の増減額 (△は増加)	342	△476
たな卸資産の増減額 (△は増加)	71	△973
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△181	△7
仕入債務の増減額 (△は減少)	18	△55
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	39	△58
その他	△0	41
小計	2,905	2,108
利息及び配当金の受取額	40	47
利息の支払額	△30	△36
法人税等の支払額	△879	△352
保険金の受取額	—	138
その他	2	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,038	1,904
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,727	△8,227
定期預金の払戻による収入	10,727	8,227
有形固定資産の取得による支出	△1,615	△2,710
無形固定資産の取得による支出	△11	△45
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
その他	△280	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,914	△2,661

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,025	4,208
短期借入金の返済による支出	△1,004	△3,124
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△5	△1,650
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△21	△30
配当金の支払額	△298	△343
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△305	58
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	△57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△228	△754
現金及び現金同等物の期首残高	11,864	9,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,635	8,981

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。